

令和4年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：ナシ黒星病（No. 9）

令和4年5月2日
鳥取県病害虫防除所

表1 病落葉からの子のう胞子飛散状況（調査地点：鳥取県園芸試験場）

単位：個

月・半旬	令和4年	令和3年	平年 (平成28年～令和3年)
3・4*	0	0	—*
3・5	0	0	5.8
3・6	7	0	21.2
4・1	0	0	18.6
4・2	0	0	6.8
4・3	305	1	15.5
4・4	2	0	6.0
4・5	59	0	54.3
4・6	62	0	3.7
5・1		0	1.3
5・2		0	0.2
5・3		0	0
5・4		0	0
5・5		0	0
5・6		0	0

注) —は欠側。電動モーターを用いた吸引式胞子採集方法で実施。

*令和2年から調査を開始したため、平年値は未記載。

表2 果（花）そう基部病斑からの分生子飛散状況
(調査地点：鳥取県園芸試験場)

単位：個/雨水あたり

月・半旬	令和4年	令和3年	平年 (平成24年～令和3年)
3・4	0	0.6	—*
3・5	1.5	0	1.7
3・6	5.3	0	5.0
4・1	—**	23.8	8.7
4・2	0.3	—**	9.6
4・3	36.9	12.5	6.5
4・4	—**	23.0	6.2
4・5	47.1	—**	35.2
4・6	48.4	11.4	15.1
5・1		2.1	11.0
5・2		170.5	21.1
5・3		34.7	8.4
5・4		51.4	18.2
5・5		18.0	70.5
5・6		7.5	14.6

注) —は欠側。*令和2年から調査を開始したため、平年値は未記載。平年値は、5年以上の観測値から算出。

**は無降水のため調査未実施。

<情報の内容>

4月第6半旬調査結果

- ・病落葉からの子のう胞子の飛散量は、平年に比べて多かった。
- ・花そう基部からの分生子の飛散量は、平年に比べてやや多かった。

<参考>

- ・子のう胞子採集方法
病落葉（前年採集）の上に設置した胞子採集機内にグリセリンゼリーを塗布したスライドガラスを静置（24～72時間）し、スライドガラスに付着した胞子数を調査した。
- ・分生子採集方法
雨滴法（漏斗を罹病した腋花芽の下に設置）により採集した雨滴中の胞子数を降雨日ごとに調査した。